



#### 一人ひとりへプレゼント

今年は消費電力を少なくしようと工夫しながらも、やはりクリスマスの時期は、町がきれいに飾られ、美味しいケーキが並び、プレゼントが交わされます。煙突はなくても、子ども達はサンタクロースからのプレゼントを楽しみにクリスマスの夜を待っていることでしょう。

ある日、出産を控えたママがニコニコしながら「赤ちゃんが一人生まれると、沢山の天使がお祝いに来てくれるんですよ」と話していましたが、その話を聞いて、私は「あかちゃんが うまれるとき かみさまは ひとりひとりの あかちゃんに おくりものを くださいます。かみさまからの おくりものは てんしが はこんでくるのです」という言葉で始まる、樋口道子さんの‘かみさまからの おくりもの’という絵本を思い出しました。ほっぺの赤い赤ちゃんにも、大きい赤ちゃんにも、泣いている赤ちゃんにも、よく動く赤ちゃんにも、すやすや寝ている赤ちゃんにも、天使は贈り物を運んできます。

我が子が生まれた時に、天使はどんな贈り物を運んできてくれたのかな？もしかしたら、それはすぐには分からないものかもしれません。プレゼントの包みを開けるように、こどもが成長していく過程で少しずつ見えてくるのかもしれませんね。こどもとの生活は、大忙しでカッカとしたり、バタバタしていることも多い日々ですが、その中で天使が運んできた贈り物を発見できたら幸せだなと思います。

そして生まれた時は、みんな赤ちゃんだったのですから、私たち大人にも、きっと贈り物が運ばれているはずですね。

いろいろな形のプレゼントがありますが、リボンで結ばれ、クリスマスツリーの明かりの下に置かれたプレゼントもあれば、目には見えない優しい言葉、美しい音楽、親切な気持ち etc. どれも嬉しい素敵なプレゼントです。プレゼントはそれを贈る人の愛を表しており、受け取る人に、自分が大切にされている喜びと驚きを届けてくれるのではないのでしょうか。

依田幸子



#### 今月の子育ての詩（うた） 和光堂「子育て川柳」より

- ・ 伸ばす手を 払うわが子の 一人立ち
- ・ 寝たふりに 子が鼻つまみ 耳つまむ



## 今月のわたしのお気に入り “いつも だれかが…”

作・絵: ユッター・パウアー

訳: 上田真而子

出版: 徳間書店

これは天使のお話です。天使と聞くと普通清らかで美しい姿を想像しますが、ここに出てくる天使はちょっと年をとった生活感たっぷりのおばさん風の姿をしています。でもあとがきにはこんな風にかかれています。「人は生きていくうえで、様々なことに会います。困ったこと、苦しいことを何とか無事にきり抜けた時、ほっとするだけでなくよくもまあ乗り越えてこられたものだと思うことがありますよね。

もしかしたらこんな天使がいて、助けてくれているのかもしれない。」私はこの言葉がとても好きで、こんな風な仕事ができたら良いなと思っています。自分の後ろにもこんな天使がきつっている。

そう思えたら良いですね。

(佐川)



## ひろばにて



ひろばで聞いた素敵なママのつぶやきを皆さんにもお伝えしたくて文章にさせていただきました。

今回は吉井波空人(はくと)君、海空澄(みらと)君のママ 優子さんのお話です。

布オムツを通して子育てをする中で、私にとってとても感動する出来事がありました。長男のオムツが外れて少しした頃です。夜一人で布オムツを干している時、一枚のポロポロになった布オムツと出会いました。「これが布オムツの最後なんだ…」と一人感動してしまいました。最初は腹帯だったのかなあ？その後、いろいろな子のオムツになって、うちに来てくれて、そして長男のオムツを外してくれて、弟のオムツになってくれて、最後はこんなにポロポロになって…。[ありがとう、お疲れ様]と思わず声にしたいくなりました。最後は雑巾になってその一生を終える布オムツ。オムツの最後を始めて見た私は、布オムツとの2年半の付き合いをいろいろ思い出しました。子どもが胃腸炎の時、夜、お風呂で布オムツを洗う時に下痢の回数を教えてくれたな…とか、急な嘔吐や旅先で雑巾に変身してくれたな…とか。何よりもこのオムツがくれた私への一番のおくりもの、それは子どもたちと触れ合う時間をたくさんくれたことでした。



### 江東区南砂子ども家庭支援センター “みずべ”

〒136-0076 江東区南砂3-14-1-101 (指定管理者: 社会福祉法人雲柱社)

TEL03-5617-7772 FAX03-5617-7773 (児童虐待ホットライン TEL03-3646-5481)

Email: [minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp](mailto:minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp) URL: <http://www.kotomizube.jp>